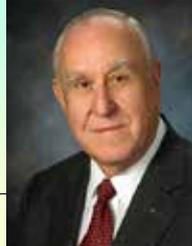


	<p>2016-2017 国際ロータリーのテーマ 人類に奉仕するロータリー ROTARY SERVING HUMANITY</p>	<p>2016-2017 RI会長 ジョン F. ジャーム 米国(テネシー州)</p>	
<p>第1379回例会 平成28年11月29日(火)</p>			

■ 点 鐘 12:30

■ ソング 真実を求めて 平澤理ソングリーダー

■ ゲスト・ビジター紹介 ・駒ヶ根ロータリークラブ 窪田雅則様

■ 会長談話 伊澤和男会長



11月も最後の例会となりました。54年ぶりの大雪が降り、伊那では観測史上11月最低気温を記録し、なかなか平穏な一年にはなりそうにありません。本日はネパール支援で活躍されている駒ヶ根RC窪田前会長をお迎えしておりますが、ネパールでもイタリアでも、我が日本でも地震があちこちで発生しております。本日のクラブフォーラム、ロータリー財団で6つの重点分野に挙げている第一に平和と紛争予防／紛争解決としていますが、人的に発生する紛争も世界ではなかなか前に進まず逆に多くまた過激になっているように思います。

豪華道を始め日本人横綱の誕生はまだまだ遠いようですし、松山、石川も残念な結果に終わりました。平穏な夢溢れる毎日は遠いように思います。私達は日頃の活動を通して、一步一步前に進まなくてはなりません。私達にできることは限られていますが、明日に向かって・・・忘年会を乗り切りましょう！

先日村内行事でおやきの会がございました。昔はよくおやきを食べる折、恵比寿様の話をおばさんから聞きました。恵比寿様は外で働いて家に福を呼ぶ神様で、出かけるときは甘くないおやきを、帰ったときはいっぱいあんこを入れたものを食べさせるように等と楽しい、子供にとっては待ち遠しかったことを思い出しました。

注連縄作りや来年恒例の行事もあちこちで始まり、各種団体も来年総会の準備等、なにかと気忙しいときです。昔は貧しかったけれど、時間は緩やかな癒やかにゆっくりと流れていたように感じる事が多くなった今日分頃です。

■ ニコニコボックス

- ◆ 窪田雅則様 今日ではよろしくお願ひします。
- ◆ 伊澤和男 本日は窪田様、多忙の中ご出席ありがとうございます。
- ◆ 池上幸平 県の立入で収集運搬の更新審査が終わり、優良認定がもらえるという事になりました。ぜひ御用命ください。
窪田さん、山雅さんねんでしたネ。本日はよろしくお願ひします。
- ◆ 熊谷健 11月22日に新入会員セミナー(第2回目)を行いました。今日はその効果てきめんで、新入会員の出席多いでしょ！
- ◆ 網野裕美 ご無沙汰しております。先日の新人研修で心うたれた事もあり・・・少し頑張ります。PS. 小川先生大好きです。

■ 幹事報告 宮澤友浩幹事 幹事報告は別紙をご覧ください。

■ 委員会報告

・11月20日(日) 地区広報・情報セミナーの報告 松田靖宏広報委員長



2016～2017 中信第一グループ IM会員セミナー
第2部 地区広報・情報セミナー
日時：2016年11月20日(日)
15:45～16:45
場所：ホテルブエナビスタ

講師：ロータリーの友編集長 二神典子氏（東京築地RC）
テーマ：「ロータリーの公共イメージと認知度向上」

講演内容

- ①RI戦略計画から考える
- ②正しいロゴを使ってイメージを統一する
- ③地域のニーズに合った活動をする
- ④自分の言葉でロータリーを語る

報告

公共イメージの向上に不可欠な、公式ロゴの取り扱い、ホームページの注意点等、大変勉強になりました。

・11月21日(月) 30周年記念事業委員会の報告 池田幸平記念事業委員長



日時 11月21日 正午
場所 かんてんばば栃の木
内容 北京オリンピック、ソフトボール監督齊藤春香氏の講演をかんてんばばホールをお借りして開催するため、ホールの視察をしました。会場をみて当日の準備を確認しました。

・11月22日(火) 新入会員セミナーの報告 熊谷健会員増強・プログラム委員長



去る11月22日、角八そば店において「第2回新入会員研修会・忘年会」を開催しました。第1回の研修会は会員増強委員会メンバーを含め20数名で開催しましたが、今回は新入会員にもう少しロータリーを知ってもらいたいとの考えから、9名で開催しました。小川副会長から、奉仕の理念・ロータリーの歴史や活動について講義いただき、新入会員からも活発に質問が出るなど充実した研修会となりました。

■ ネパール視察報告 駒ヶ根ロータリークラブ 窪田雅則様



昨年地震の影響について(シバ校長の話)、寄宿舎について、生徒の声、街の状況などお話をいただきました。
障害者作成のカレンダーを購入していただき、これからの寒い冬に向けて、まだまだ不足している毛布の配給を支援したい、とのお話がありました。

■ 出席報告 会員数42名 出席免除会員7名 長欠会員2名 本日出席者31名 事前メイク1名
出席率84.21% 前回出席率 修正なし



ロータリー財団月間が11月の理由は、1931年11月12日に信託組織になったことによります。

ロータリー財団は、1917年米国ジョージア州アトランタで開催された国際大会において、アーチC.クランプが「全世界的な規模で慈善・教育・その他社会奉仕に分野でよりよい事をするために基金をつくろう」と提案したことに始まる。資産10億ドルの世界最大規模の財団に成長し、2025年までに恒久基金の資金を20億2500万ドルにする目標を立てている。

寄付は、ポリオの撲滅や平和の推進といったロータリーの優先活動のために有効に活用されています。ご承知の通り、ポリオ撲滅をめざす闘いは国際ロータリーのプログラムの中でも、とても重要な位置を占めています。元はと言えば、実は、日本の東京麹町ロータリークラブが中心となり、2580地区（東京・沖縄）と2750地区（東京・北マリアナ諸島・ミクロネシア・パラオ）の各クラブに提唱したポリオ撲滅運動に端を発します。フィリピンの子ども600万人にポリオ予防接種を提供するための複数年プロジェクトは、1979年、マニラの子どもたちへの経口ポリオワクチン管理を通じたプロジェクトから開始されました。このように財団の補助金は、ロータリアンが貧困、識字、飢餓などの問題に持続可能な方法で取り組むことを可能としています。

「ロータリアンが健康状態を改善し教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて世界理解、親善、平和を達成できるようにすること」を使命とし、標語として「世界でよいことをしよう」を掲げています。

未来の夢計画と新しい補助金モデル

21世紀に入り、財団は世界各地で大きな変化をもたらす活動を実施していました。しかしそのプロジェクト数の増大と事務手続きの煩雑さにより財団の事務機能が限界にきた。そして2017年にロータリー財団が創立100周年を迎えるのを契機に自らの仕組みを見直し時代のニーズに合ったものに変えていこうと「未来の夢計画」が2009年度からスタートしました。新制度は、私たちロータリアンがクラブで計画を練り、汗をかき、自律的に活動することを通じて社会のために活動をしていると実感出来るように作られたものです。未来の夢計画によって、ロータリー財団は私たち全てのクラブのための財団であることがより明確になりました。今までのように財団独自のプログラムを消化すれば良いプログラムから大きく変容しました。つまり財団のための財団ではなく、ロータリアンのための財団となったわけで、プログラムも各クラブのロータリアン自らが創造しかつ自らが活動するものになったということです。

ロータリー財団の優先事項

- 財団の使命に沿って、プログラムと運営を簡素化する
- 世界の優先ニーズに取り組むことによって、最大の成果が期待できるロータリアンの奉仕活動に焦点を絞る
- 世界的目的と地元の目的の両方を果たすために資金を提供する
- 意思決定権をさらに地区とクラブに移行することによって、R財団が自分たちのものであるという自覚を高める
- R財団の活動に対する理解を深め、公共イメージを高める

ロータリー財団のプログラム

○ 地区補助金

DDF（地区財団活動資金）の50%を上限にクラブや地区が比較的短時間で1回限りの小規模で国内（地元）・海外の事業どちらにも参加でき、プロジェクトの分野は問わない。ただしロータリー財団の使命に合致しているか、人道性、社会的弱者にフォーカスしたプロジェクトか、地域社会にとって必要性和緊急性があるか等の選考基準がある。詳しく話ネットで2600地区ホームページの地区ロータリー財団委員会補助金マニュアルを見てください。これは2600地区が補助金事業について独自に作成したもので、アクセスさえすればいつでもだれでもが当地区における補助金についての最新情報を入手できます。過去の反省に基づき作成者の願いと努力が結集されたもので、財団についての理解を深める必見の書です。

伊那中央RCの地区補助金活用事業

- 2013年 たかずやの里へ52インチ液晶テレビを寄贈
- 2014年 伊那市バラ咲く街角連絡協議会へバラの鉢贈呈
- 2015年 大芝高原に野鳥の看板を設置

2016年 小中高女子チャレンジ大会実行委員会にバッティングマシンを寄贈

○ グローバル補助金

財団からの大きな支援の下、より長期的な視点から持続可能な活動に参加し、6つの重点分野（下記※）に沿った多大な影響をもたらす大規模な（30,000ドル以上）プロジェクトや活動に補助金を活用する。グローバル補助金の利用にあたっては、活動が実施される国のクラブ/地区と、それ以外の国のクラブ/地区が協力することが求められます。

※6つの重点分野

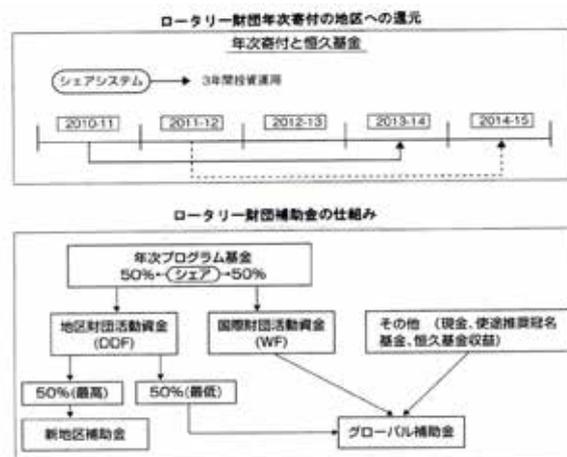
- 平和と紛争予防/紛争解決
- 疾病予防と治療
- 水と衛生
- 母子の健康
- 基本教育と識字率向上
- 経済と地域社会の発展

○ ポリオプラス

ポリオ・プラスは、世界からポリオ（骨髄性小児麻痺）を撲滅するというロータリーの大規模な活動です。国際ロータリーは、世界ポリオ撲滅推進計画の一員として、世界保健機関、ユニセフ、米国疾病予防センター、各国政府やその他の団体と協同し、保健問題に取り組む世界で最も大規模な公共と民間の協力活動を行っています。ポリオ・プラスほど大規模な運動で活躍した非政府組織は他にありません。それは、世界でこれまでに類を見ないほど壮大な人道的奉仕であるといえるでしょう。この功績は、一人ひとりのロータリアンが誇りとすることができるものです。

○ ロータリー平和センター

ロータリー平和センターの使命は、理論と実地研修を合わせた教育と、世界的ネットワークの活用を通じて、平和構築に必要とされる専門知識とスキルを養う機会を提供し、平和の担い手となる人材を育てることです。毎年、最高100名のロータリー平和フェローが選ばれ、平和と紛争解決分野の専門能力開発修了証プログラム、または平和と安全保障分野の修士号プログラムで学ぶためのフェローシップ（費用全額を賄う奨学金）が提供されます。平和センターで養った知識とスキルは、世界各地の地域社会で平和と紛争解決に向けた活動を実施するための力となります。現在、さまざまな機関・団体の要職に就いて、平和をめざす任務に取り組んでいます。6つのロータリー平和センターが、世界6カ国の著名7大学に設置されています。（日本は国際基督教大学）



■ 点 鐘

13:30

次回例会
12月6日(火) 点鐘 12:30 場所 海老屋料理店
年次総会